



高山 はじめ

予算特別委員会は分割審議を含め五日間にわたり精力的に議論が交わされました。平成25年度補正予算審議では、自民党から耐震補強予算の未執行分の減額補正について質疑があり、申請数が少ないことが明らかになりました。総括質疑では自民党から①児童遊園の利用実

態と地域ニーズに合った活用について②自転車専用道路の整備について③映像広報の有効活用について質疑があり、最後に問題点として喫煙場所の整備が進んでいないことを指摘しながら、これまで以上に区民・議会の意見を取り入れ、事業の円滑な実施に向けて一層の検討することを要望し平成26年度予算を認定しました。

今定例会のTOPICS (議案・意見書)

※議長は裁決に加わりません。

●安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例の一部改正

路上禁煙地区内の公園等を禁煙にできる。

付帯決議付
で可決

付帯決議

- ・地域と十分協議して決定する。
- ・分散型の喫煙所を確保する。
- ・喫煙所の周知方法等について検討する。

●公共の場における客引き行為等の防止に関する条例(客引き防止条例)

繁華街等における客引き行為等を防止する。

全会一致で可決

自民党の主張

地域ルールを重視し町の活気が失われないように特に悪質な行為を規制する。

●公契約条例

受注業者に賃金の下限額や社会保険加入などを規定するもの。労働条件の条例化には慎重意見が多くあった。

全会一致で可決

慎重意見に対し

区は今後本条例の調査研究や検討すべき課題に取り組み、議会と十分に相談をしながら方向性が出た段階で施行していくことを明らかにした。

●集団的自衛権の解釈変更に関する安倍首相の発言撤回を求める意見書

共産党提出意見書に対して一票差での否決となった。

否決

自民党9・諸派2

新しい千代田4・共産2・民主系3・諸派1

反対

賛成

(公明1・諸派1は退席)

●東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備及び地域における取組への支援を求める意見書

同時にオリンピック・パラリンピック対策特別委員会の設置が決まった。

可決

共産2

自民党9・公明2・諸派9

反対

賛成

第60回自民党千代田総支部定期大会報告

3月8日(土)如水会館にて約150名の参加を頂き盛大に開催されました。会計報告、予算決算、人事案が承認され新しい支部長に内田茂都議、副支部長に高山はじめ他2名、幹事長に石渡伸幸が就任しました。



▲平成26年第60回自民党千代田総支部大会開催

VOICE



平成26年 春号(年4回発行)

千代田区 自由民主党議員団
活動レポート



平成26年度 第1回千代田区議会定例会 平成25年度 補正予算・平成26年度 予算案可決 オリンピック・パラリンピック対策特別委員会 設置決定

▲清水門からの武道館



石渡伸幸
企画総務委員会
オリンピック・パラリンピック
特別委員会(委員長)



鳥海隆弘
環境文教委員会(副委員長)
駅及び駅周辺環境整備
特別委員会(委員長)



戸張孝次郎
幹事長
企画総務委員会



高山はじめ
環境文教委員会
商工観光施策特別委員会(委員長)



桜井ただし
企画総務委員会(委員長)
駅及び駅周辺環境整備特別委員会



小林やすお
生活福祉委員会
公共施設整備特別委員会
(委員長)



松本よこ
生活福祉委員会
監査委員



嶋崎秀彦
議長
企画総務委員会



内田直之
環境文教委員会
商工観光施策特別委員会



永田壮一
生活福祉委員会
公共施設整備特別委員会

※主な所属委員会のみ記載

平成26年 第1回 区議会定例会

代表質問 戸張 孝次郎



副区長就任後の区政運営について

Q ①都知事の交代を受けて、東京都とはより密接な連携が不可欠ではないか。②首長が独善的態度では円滑な行政運営はできない。二元代表制である議会との関係も含めどう考えるか。

A ①区民のことを第一に考えながら従来以上に連携していく。②議会とは知恵を出し合いながら意思疎通を図る。

東京オリンピックについて

Q ①多くの外国人観光客が訪れることを想定して案内標識・生活環境条例等、あらゆる施策を早目に準備していく必要があるのでは②国・都任せにせず、区として取り組むことについて、本区の対策本部ではどう検討しているのか。

A ①言葉や習慣の違いを超えて、安心して快適に過ごせる環境を整備する必要がある②本区固有の魅力を高める方策の議論に着手した。

客引き防止対策について

Q ①新手の業種に対応できるのか②地域ごとの具体的なルールは③違反した場合のペナルティは④実効性や継続性を具体的に、どう担保していくのか。

A ①全ての客引き行為を規制し対応する。②地域主体の自主活動団体により策定していく。③④指導・啓発、改善措置命令や事実公表等の適切な運用により実効性を高め、継続的に抑止していく。

一般質問 永田 壮一



中小企業支援について

Q 安倍総理の強い指導力によるアベノミクスによって景気回復が進んでいるが依然として中小企業・個人事業主を取り巻く環境は厳しい。本区の商工振興基本計画による支援策の効果を問う。

A 基本計画は進捗状況の確認や事業効果の検証を適宜行っている。商店街については地域の特性を活かした主体的な取組みを強力に支援していく。

児童の権利条約について

Q この条約を拡大解釈した「子供の権利条例」では親子を対等なパートナーとしている。子供のわがままを個性・権利だと主張されては教育現場で支障が出てしまわないか。

A 本区では同様の条例を策定する予定はない。子供の権利を強調した理不尽な要求は社会問題になっているが学校内だけでなく弁護士など専門家に相談しより良い解決法を考える。

国旗・国歌の指導についても触れたが本区ではしっかり指導していると答弁を受けた。今後は保育園でも徹底して欲しい。(永田)

その他、「平成26年度予算」「子ども・子育て支援」について質問した。(戸張)

一般質問 小林 やすお



避難所設備の格差是正

Q 区内全域が災害時に避難しない残留地域であり、火災や破損が大きい場合には避難とあるが、避難所の中には全館エアコン完備の所も有れば、温水シャワー設備の無い所もある。26年度予算案では、女性や子育て世代に配慮した避難所運営に「ウェットタオル備蓄」と有るが、真夏日や熱帯夜の日、温水シャワー設置の方がベストではないか。避難所設備の格差是正をすべきと考えるがいかがか？

A 出来るところについては、可及的速やかに対処したい。

インフルエンザ対策

Q 昨年3月、中国でH7N9型という「鳥インフルエンザ」の人への感染が発生し、死者も100人を超えた。現時点では人から人への感染は認められないが注視していく必要があり、国は対策を強化し「新型インフルエンザ等対策措置法」を施行、都も行動計画を策定したが、①区の計画策定状況は如何に？②今までの計画との違いは？③区民への予防接種については？

A ①学識経験者の意見聴取及び庁内調整中。②インフルエンザだけでなく、広く感染症を対象とした。③医師会と協力し接種体制の構築を図る。



▲本庁舎の国旗と区旗

一般質問 松本 よしこ

これからの千代田の教育について

Q 平成5年の適正配置構想によって14校14園から8校8園になった。20周年を迎えた小学校、幼稚園の成果と評価を問う。

A 地域に信頼される魅力ある学校、園であるように地域理解と愛校心をしっかり指導していく。千代田区の伝統を継続していく。

乳幼児保育と教育の今後について

Q ①今後の保育需要の見通しと、保育・教育の充実について問う。②教育委員会の現場への働きかけについて区立各学校への入学率の向上のために魅力ある教育を示すなど指導や支援をしているのか。教育部、子ども部の連携はどうか。

A ①保育需要のさらなる増加を考えて、5年間の中期的なスパンで保育需要に応える供給を実現する。保育定員増加、乳幼児期の人間形成を培う保育の推進。保育園、幼稚園、小学校までの生活を見通した就学前の保育、教育に取り組む。②教育マスタープランを策定し推進している。教育環境の整備や特色ある教育活動の充実、必要十分な予算措置を図り区立学校の魅力を高め質の高い教育を進める。

「教育と文化の街千代田区宣言」を踏まえ生涯に亘り次世代の育成を進めて欲しい。(松本)

◀北の丸公園の吉田茂像